

## 第12章 美術館

岐阜県美術館は「美とふれあい、美と対話する」をテーマに昭和57年11月3日開館し、本年度で開館30年目を迎えた。国内外のすぐれた美術品を幅広く収集・展示し、県民の審美の眼をはぐくみ、豊かな美術活動を推進することを目的としている。また、一方では各種の教育普及活動を行い、県民に親しまれ、かつ県民の様々な学習の要求に応える生涯学習の場であることを目指している。

本年度は、開館30周年に併せて増築した展示室と収蔵庫を活用し、記念展覧会を開催するなど、更なる美術館機能の充実を図っている。

### 現況

#### 1 美術館の概要

##### (1) 施設の概要

設置場所	岐阜市宇佐4の1の22			
敷地面積	約28,836㎡			
建築規模	地上2階一部塔屋及び地下			
建築延面積	8,796㎡	1階 7,337㎡	2階 1,357㎡	地下 102㎡
建築構造	鉄筋コンクリート造 一部P Cコンクリート造			

##### (2) 主な施設

- ・展示室1 ・展示室2 ・展示室3 ・展示室4（県民ギャラリー）
- ・野外展示場
- ・多目的ホール ・講堂 ・スタジオ
- ・実習棟（アトリエ） ・収蔵庫（3室） ・一時保管庫 ・準備室

##### (3) 施設の利用

- ア 観覧時間 午前10時から午後6時まで（ただし、入館は午後5時30分まで）
- イ 夜間開館日 企画展開催時の第3金曜日 午後9時まで  
（ただし、入館は午後8時30分まで）
- ウ 休館日 月曜日（ただし、月曜日が休日の場合はその翌平日）  
年未年始（12月27日～1月3日）
- エ 観覧料金 <所蔵品展示>  
・高校生以下無料 ・大学生210円(160円) ・一般320円(260円)  
（ ）は20名以上の団体の場合  
<企画展>  
・別に定める（企画展の観覧券で所蔵品展示も観覧できる）

##### (4) 一般展示室（県民ギャラリー）利用の申込方法

- ・利用期間が平成25年4月から平成26年3月までの申し込みは、平成24年4月10日から4月30日までに申し込む。

##### (5) 施設使用料金（一日の場合・10:00～18:00）

- ・一般展示室（小）8,400円、（中）16,800円、（大）25,200円
- ・多目的ホール37,500円 ・講堂15,000円
- ・野外展示場3,200円

##### (6) 活動の概要

###### ア 収集活動

主として明治以降の美術に視点をあて、本県にゆかりのある作家の代表作、日本美術の流れを展望するにふさわしい作家の作品、世界美術動向の中で特に創造性にすぐれた作家の作品を収集している。現在の作品の収蔵点数は3,898点。

特にルンドンに関しては、その油彩画、石版画、パステル画、デッサンなど253点を収蔵し、世界から注目を集めている。

イ 展示活動

収蔵作品による所蔵品展示と企画展示がある。所蔵品展示においては、年数回の展示替えにより県民の鑑賞に供している。

企画展においては、世界に眼を広げる国際的な展覧会、日本画や工芸など伝統的な日本美術の展覧会、21世紀の美術を志向する新しい試みの作品を紹介する展覧会、郷土に根付いて活動する作家を取り上げた展覧会など多角的でユニークな企画を続けている。

ウ 教育普及活動

専門的な美術の知識を培うための「美術講演会」や「美術講座」の他、「ワークショップ」や「作品鑑賞会」など企画展と連動した活動を展開している。また、創造意欲を喚起するために美術の各ジャンルを対象にした「実技講座」や、子どもたちを対象にした「幼児と子どもの造形教室」、「キッズ・エンジョイ・アート」、親子での楽しい鑑賞体験を提供する「親と子の鑑賞教室」、さらに、鑑賞のためのガイダンス、美術相談などを実施し、新しい美術館教育のあり方を探りつつ美術活動を推進するセンターとしての活動を続けている。

エ その他

夜間開館日の一部に企画する企画展コンサートや、パイプオルガン定期演奏会なども開催しながら、より県民に親しまれる美術館として、そのあり方を求め続けている。

2 平成23年度の事業概要

(1) 展覧会事業

企画展名	会期	内容
伊藤慶二 こころの尺度 + 林武史 石の舞・土の宴	2月22日（火） ～5月8日（日）	廃土を焼いた四角い作品から「面」「足」といった具象的なものまで、伊藤慶二の造形の世界は、やきものに留まらず、木や布など幅広い表現を見せる。一方で、平たい石をずらりと立てた林武史の作品は、壮大なスケール感とともに記憶の中の原風景を呼び覚ます。不敵な面構えから誰かを連想したり、石の茶室に座って感触を試したり、現代美術の可能性を身近に味わわせる作品を展示した。
第65回岐阜県美術展	一般部6月4日（土） ～6月12日（日） 青年部6月16日（木） ～6月19日（日） 少年部6月23日（木） ～6月26日（日）	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門からなる公募展 ----- 絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の5部門からなる公募展 ----- 絵画・デザイン、書写の2部門からなる公募展
ドキュメンタリー 岐阜135	10月12日（水） ～平成24年1月15日（日）	平成23年に飛騨美濃合併135周年を迎える岐阜県は山本芳翠を始め、熊谷守一、前田青邨、荒川豊藏など近代美術・工芸の歴史に重要な業績を残した作家を多く輩出している。本展では、岐阜県誕生から現在までの135年の郷土と美術の歴史を、美術館所蔵品と創刊130年を迎える岐阜新聞所蔵のアーカイブとを組み合わせ展示した。岐阜県のなつかしい写真と、同時代の美術の優品によって、135年のタイムトラベルへと招いた。
		岐阜県ゆかりの江戸時代の修行僧「円空」。その精神を彷彿とさせる芸術家を顕彰することにより、岐

第6回円空大賞展	平成24年2月10日 (金) ~3月4日(日)	阜の文化を振興し広く発信してゆくことを目的として、岐阜県では「円空大賞」が制定されている。この展覧会では、その第6回受賞者の優れた成果を一堂に紹介した。
----------	-------------------------------	--

(2) 教育普及事業

ア 実技講座 / 一般対象(中学生・高校生可)・定員20~40名

- ・ 4月「日本画実技講座」講師 / 熊崎勝利(日本画家)
- ・ 7月「油彩画実技講座」講師 / 山田昌弘(名古屋造形大学講師)
- ・ 9月「銅版画実技講座」講師 / 鈴木広行(版画家)
- ・ 10月「工芸(粘土人形)実技講座」講師 / 布山幸子(造形作家)

イ 美術講演会等

- ・ 5月1日 茶会・現代彫刻との出会い 亭主 / 安藤雅信(陶芸家)
- ・ 1月29日 三幕の物語展記念講演会「1982年岐阜県美術館が見た夢、2012年これから見る夢」講演者 / 佐藤信義(日建設計 理事・技師長)
- ・ 2月5日 「三幕の物語 第一幕」展映画上映会と監督のお話 映画「死なない子供、荒川修作」 / 山岡信貴(映画監督)
- ・ 2月10日 「円空大賞」展 場踊り / 田中泯(ダンサー)
- ・ 2月11日 円空大賞展スペシャル対談「流政之と語る」 / 流政之(彫刻家) 古川秀昭(当館館長)
- ・ 2月12日 「円空大賞」展 場踊り / 田中泯(ダンサー)
- ・ 3月18日 三幕の物語展美術講演会 VAVAとその時代 / 高橋綾子(名古屋芸術大学准教授)

ウ 美術講座

- ・ 11月13日 ドキュメンタリー岐阜135展「写真でたどる岐阜県の写真と美術」

エ 企画展関連及びその他ワークショップ

- ・ 4月3日 企画展示室内リレーコンサート「チューバによる演奏」
- ・ 4月17日 企画展示室内リレーコンサート「ギターによる即興演奏」
- ・ 4月29日 企画展ワークショップ「土とあそぶ・《面》をつくろう」
- ・ 5月4日 子どもワークショップ「大空へはばたけ ゴムひこうき」
- ・ 5月7日 企画展示室内リレーコンサート「チューバによる演奏」
- ・ 5月15日 子どもワークショップ「石ころであって石ころでない」
- ・ 7月23日 夏休みワークショップ「水うちわづくり」
- ・ 8月5日 夏休みワークショップ「自分の書づくり」
- ・ 8月7日 子どもワークショップ「君の森と色いろな森」
- ・ 8月20日 伝統工芸ワークショップ「鳥のやじろべえ」
- ・ 8月27日 親子木育ワークショップ「木のおもちゃづくり」
- ・ 10月29日 親子ワークショップ「親子で組紐」
- ・ 10月30日 企画展ワークショップ「染めものアート」
- ・ 11月27日 子どもワークショップ「あれもこま これもこま」
- ・ 1月22日 子どもワークショップ「森のお友達」
- ・ 1月29日 HIBINO ARTゼミvol.1「岐阜とアート」
- ・ 2月14日 HIBINO ARTゼミvol.2「日比野とアート」
- ・ 2月25日 HIBINO ARTゼミvol.3「社会とアート」
- ・ 2月26日 HIBINO ARTゼミvol.4「子どもとアート」
- ・ 3月18日 HIBINO ARTゼミvol.5「未来とアート」

オ 作品鑑賞会

- ・ 4月10日 伊藤慶二 アーティスト・トーク
- ・ 4月15日 林武史 アーティスト・トーク

- ・ 6月25日 「岐阜県美術展 少年部」みんなの鑑賞会
- ・ 10月21日 「ドキュメンタリー岐阜135」展 作品鑑賞会
- ・ 11月18日 「ドキュメンタリー岐阜135」展 作品鑑賞会
- ・ 12月16日 「ドキュメンタリー岐阜135」展 作品鑑賞会
- ・ 1月20日 「三幕の物語」第一幕展 作品鑑賞会
- ・ 2月12日 「円空大賞」展 作品鑑賞会
- ・ 2月17日 「三幕の物語」展 作品鑑賞会
- ・ 2月26日 「円空大賞」展 作品鑑賞会
- ・ 3月16日 「三幕の物語」第二幕展 作品鑑賞会

カ 親と子の鑑賞教室

- ・ 4月 9日 ・ 5月14日 ・ 6月11日 ・ 10月8日 ・ 11月12日 ・ 12月10日
- ・ 1月14日 ・ 2月11日 ・ 3月10日

キ 「夜間開館日」催し物（コンサート、他）

- ・ 4月15日 「チェンバロの夕べ」
- ・ 10月21日 「企画展コンサート」

ク 幼児と子どもの造形教室

- ・ 7月31日 「染めようマイフラッグ」
- ・ 8月21日 「紙を使ったおもちゃ」
- ・ 9月 4日 「あかりのアート」
- ・ 11月20日 「リースをつくろう」
- ・ 12月18日 「年中無休のお友達」
- ・ 2月19日 「3Dアート」

ケ キッズ・エンジョイ・アート

- ・ 4月16日 ・ 5月21日 ・ 6月18日 ・ 10月15日 ・ 12月17日 ・ 2月18日

コ スクールミュージアム「学校の教室が美術館に!？」

- ・ 11月1日 岐阜県立恵那南高等学校

サ 岐阜県移動美術館

- ・ 土屋輝雄 展  
平成24年1月13日～2月12日 中山道広重美術館

シ デッサン自習室

- ・ 9月17日 ・ 10月22日 ・ 11月19日 ・ 12月3日 ・ 1月21日
- ・ 2月7～10日 ・ 2月25日 ・ 3月13～17日

ス オルガン定期演奏会 6月と休館期間中を除く毎月第二日曜日

- ・ 4月10日 ・ 5月 8日 ・ 10月 9日 ・ 11月13日 ・ 12月11日
- ・ 1月 8日 ・ 2月12日 ・ 3月11日

(3) 平成23年度観覧者数

4月から24年3月に開催の主な企画展

展 覧 会 名	小・中 ・高生	個 人		団 体		免除 招待	計	開館 日数
		大学生	一 般	大学生	一 般			
伊藤慶二 こころの尺度 +	355	48	860	0	118	1100	2,481	33

林武史 石の舞・土の宴								
ドキュメンタリー 岐阜135	1,844	62	2,526	0	407	2,550	7,389	97
リニューアルオープン記念 三幕の物語 第一幕：田口コレクション、 安藤基金コレクション	512	51	1,606	0	166	1,354	3,689	35
第6回円空大賞展	426	42	901	0	130	1,412	2,911	21
リニューアルオープン記念 三幕の物語 第二幕：郷土作家逍遥	697	60	1,910	0	227	1,250	4,144	34
計	3,834	263	7,803	0	1,048	7,666	20,614	220
(下段は三幕の物語展を除いた数)	2,625	152	4,287	0	655	5,062	12,781	151

## 平成24年度の事業計画

### 1 所蔵品展

#### (1) 所蔵品展示の方針

- ・テーマをもとに所蔵品展示を構成し、紹介する。
- ・「日本画」 本県ゆかりの作家、川合玉堂、前田青邨の作品を中心に、加藤栄三、川崎小虎、長谷川朝風、加藤東一、守屋多々志など、近代、現代の日本画壇を展望するにふさわしい作家の作品を展示する。
- ・「絵画」 - 国内 - 本県ゆかりの作家、熊谷守一、山本芳翠などの作品を展示する。また、日本の洋画史上、目覚ましい活躍を示した岸田劉生、藤島武二などの作品、更に現代美術の優れた作品を展示する。
- ・「絵画」 - 外国 - ルドン、ルノワール、パスキン、ミロなどの優れた作品を展示する。
- ・「工芸」 岐阜県ゆかりの工芸作家の作品を中心に、本県工芸の特質を紹介展示する。
- ・「彫刻」 彫刻作品の所蔵品展示は、屋外ではマイヨールの「地中海」やルノワールの「勝利のヴィーナス」を始め、李禹煥、小清水漸など現代美術の優れた作品を展示。屋内には、イタリア現代彫刻から岐阜ゆかりの注目すべき作家の作品を中心に展示する。
- ・以上の方針に基づき、日本画、国内外の絵画、彫刻、工芸などを常時展示する。
- ・当美術館から遠隔地において、当美術館の収蔵作品による「岐阜県移動美術館」（以下「移動美術館」という。）やスクールミュージアムを開催することにより、広く県民の鑑賞に供し、地域文化振興の一助とする。

#### (2) 昨年度から継続している所蔵品展示

##### 「リニューアルオープン記念

初公開作品を含む県美コレクションの精髓による三幕の物語」

岐阜県美術館は、昭和57年に開館して以来、郷土ゆかりの作家をはじめ、世界的なコレクションに成長したオディロン・ルドン関連、そして今日の美術と収集方針を定め、現在約4,000点の作品を収蔵している。その半数が寄贈や寄付によって美術館にもたらされた作品である。

このたびの所蔵品展示室増改築を機に、これら寄贈された作品と収蔵品の根幹をなす主要作品を中心に、三期に分けて展示した。平成23年度に開催した第一幕、第二幕に引き続き、第三幕では、静岡、京都、東京で巡回された当館所蔵品による「夢見る世紀末 ルドンとその周辺」展出品作に、フランスで開催されたルドン回顧展に出品した《オリヴィエ・サンセールの屏風》や資料を加えて展示した。  
「第三幕：ルドン氏が見た夢」(4/5～5/13)

(3) 展示室Bにおける 所蔵品展示計画

5月17日～7月1日  
「荒川修作&」  
7月5日～10月14日  
「映るイメージ」  
10月18日～平成25年1月14日  
「増殖するアート」

(4) その他の所蔵品展示計画

5月中旬～8月中旬

展示室1-A～C(5/15～8/19)  
世紀末ヨーロッパの余音 - 山本芳翠から北蓮蔵まで -  
展示室1-D(5/18～7/1)  
山田光展 - 黒×銀 -  
展示室A-E(5/18～7/1)  
日本画・花と鳥の競演

8月中旬～12月上旬

展示室1 A(8/21～12/9)  
エコール・ド・パリと20世紀西洋美術  
展示室1 B(8/21～12/9)  
国内絵画(山本芳翠から熊谷守一まで)  
展示室1 C(8/21～12/9)  
大嶽有一展  
展示室1-E(9/11～1/14)  
水のある風景 他

12月中旬～平成25年3月上旬

展示室1-A(12/11～3/17)  
日本の絵画  
展示室1-B,C(12/11～3/17)  
ルドンと西洋の版画  
展示室1-D,E(11/27～1/14)  
水のある風景

2 企画展

(1) 企画展の実施計画

企画展名	会 期	内 容
第66回岐阜県美術展	一般部6月2日(土) ～6月10日(日)	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門からなる公募展。
	青年部6月14日(木) ～6月17日(日)	絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の5部門からなる公募展。
	少年部6月21日(木) ～6月24日(日)	絵画・デザイン、書写の2部門からなる公募展。
		19世紀末西欧に広がった象徴派。理想の芸術を求め

開館 30 周年記念 象徴派 - 夢幻美の使徒たち	7月13日（金） ～8月26日（日）	た彼らは、眼に映る世界を超えたところにある夢幻美をめざした。彼らの試みは、同時代の音楽や文学、またジャポニスムの装飾理念とも連動した。モロー、ルドン、ゴッコン、ムンク、ボナール、ピアズリー、クノップフら 51 作家による約 140 点とともに夢と幻想の世界を紹介する。
開館 30 周年記念 マルク・シャガール - 愛をめぐる追想	9月5日（水） ～10月28日（日）	20 世紀前半のパリやロシアで前衛芸術の洗礼を受けながら、理論や主義主張を超越し独自の世界を展開したマルク・シャガール（1887 - 1985）。本展では、日本初公開や国内の名品、版画など約 100 点を通じて、シャガールが描いた男女の愛、郷土への愛、家族間の愛、普遍的な人間愛など、様々な愛の表現を探る。
開館 30 周年記念 岐阜県美術館の歴史 30 年の歩み展	11月2日（金） ～12月24日（月）	昭和 57 年の開館以来、岐阜県美術館は、古今東西の美術の姿を様々な視点からみつめた展覧会を、これまでに 200 回近く開催してきた。開館 30 周年を記念し、岐阜県美術館がたどってきた歩みを、ポスターと図録そして映像とともに、振り返る。感動の歴史を再確認しながら、近未来の鑑賞体験へと招待する。
体感アート @県美.com（ケンビ ドットコム） - アボリジニからヌ イプロジェクト、現 代アートまで	平成 25 年 1 月 22 日 （火） ～5月6日（日）	「岐阜県美術館がドット（点）の集積になる」展覧会。鹿児島島の工芸・芸術活動集団「工房しょうぶ」のひとつ「ヌイ プロジェクト」による作品は一針一針が魂の集積である。また、アボリジニ美術は彼らの創世記の物語がドットで表現される。現代美術からもドットの作品が集合する。時代やジャンルを超えた幅広い視点で、アートを身近に体感する。

### 3 教育普及事業

#### (1) 教育普及事業の方針

- ・主に企画展の関連行事として「美術講演会」を開催することにより、企画展出品作家作品についての理解を深める。
- ・「実技講座」「幼児と子どもの造形教室」「子どもワークショップ」などを開講することにより、創造活動の楽しさを伝え、創造意欲を喚起する。
- ・企画展に関連した「ワークショップ」を開催することにより、作品鑑賞や創造活動の基礎・基本に触れる機会とする。
- ・当館学芸員の研究成果を発表する「美術講座」を開講することで、来館者に対して広範な美術の知識を提供する。
- ・「作品鑑賞会」を行うことにより、企画展の鑑賞の助けとする。
- ・「親と子の鑑賞教室」を行うことにより、子どもたちとその保護者が美術作品と美術館に親しみ、美術鑑賞の楽しさに触れる機会を提供する。
- ・「ギャラリー案内員による作品解説」を行うことにより、作品鑑賞の支援をする。
- ・「講堂」を多角的に活用することで、豊かな美術鑑賞の場を広げる。
- ・「移動美術館」「スクールミュージアム」を行うことで、児童・生徒の鑑賞の能力を高めるとともに、地域社会の中で学校が文化拠点の役割を果たし、生涯教育の場となるよう支援する。
- ・その他「企画展コンサート」「オルガン定期演奏会」を、県民に親しまれ、開かれた美術館の活動の一環として開催する。

(2) 主な教育普及活動の実施計画

ア 実技講座 / 一般対象 (中学生・高校生可)・定員20~40名

- ・ 4月 「油彩画実技講座」講師 / 山田昌弘 (名古屋造形大学講師)
- ・ 7月 「日本画実技講座」  
講師 / 熊崎勝利 (日本画家、加藤栄三東一記念美術館館長)
- ・ 10月 「シルクスクリーン実技講座」  
講師 / 竹村廣士 (大垣女子短期大学講師)
- ・ 11月 「石彫実技講座」講師 / 三輪乙彦 (彫刻家)

イ 美術講演会等

- ・ 10月 7日 「シャガール」展美術講演会  
講師 / 深谷克典 (美術史家、名古屋市美術館学芸課長)
- ・ 11月 4日 公開制作「版画デモンストレーション」  
講師 / 船坂芳助 (版画家)

ウ 美術講座

- ・ 7月28日 「象徴派」展 美術講座
- ・ 8月 4日 「象徴派」展 美術講座
- ・ 10月14日 「シャガール」展 美術講座

エ 企画展関連及びその他ワークショップ

- ・ 4月14日 子どもワークショップ「石ころであって石ころでない」
- ・ 7月21日 企画展コンサート「ジャズピアノ ソロライブ」
- ・ 7月29日 企画展ワークショップ「水をさわって川になる」
- ・ 8月 3日 夏休みこどもワークショップ「自分の書づくり」
- ・ 8月 5日 企画展ワークショップ「ようこそ夢の世界へ」
- ・ 8月12日 子どもワークショップ「紙であそぼう」
- ・ 8月18日 伝統工芸ワークショップ「自分のおわんをつくろう」
- ・ 8月19日 親子ワークショップ「親子で組紐」
- ・ 8月22日 子どもワークショップ  
「色でなかよし~新しい自然をつくってみよう」
- ・ 9月 8日 企画展ワークショップ「わたしの大切な世界」
- ・ 9月22日 企画展コンサート「シャガールが愛した、故郷の旋律」
- ・ 10月28日 子どもワークショップ「おさかなパクン」
- ・ 11月11日 子どもワークショップ「とびだせジャンプ」
- ・ 1月27日 子どもワークショップ「森のお友達」
- ・ 2月10日 企画展ワークショップ「素材で楽しむ日本画」
- ・ 3月10日 企画展ワークショップ「どろんこアート」

オ 作品鑑賞会

- ・ 4月20日 「三幕の物語」展 作品鑑賞会
- ・ 7月20日 「象徴派」展 作品鑑賞会
- ・ 8月17日 「象徴派」展 作品鑑賞会
- ・ 9月21日 「シャガール」展 作品鑑賞会
- ・ 10月19日 「シャガール」展 作品鑑賞会
- ・ 11月16日 「30年の歩み」展 作品鑑賞会
- ・ 12月21日 「30年の歩み」展 作品鑑賞会
- ・ 2月15日 「体感アート」展 作品鑑賞会
- ・ 3月15日 「体感アート」展 作品鑑賞会

カ 親と子の鑑賞教室

- ・ 5月12日 ・ 6月9日 ・ 7月14日 ・ 8月11日 ・ 10月13日
- ・ 11月10日 ・ 12月8日 ・ 1月12日 ・ 2月9日



キ 「夜間開館日」催し物

- ・ 9月21日 企画展コンサート「シャガールが愛した、故郷の旋律」

ク 幼児と子どもの造形教室

- ・ 5月 5日 「土を焼いてつくろう」
- ・ 7月 1日 「楽しい水中花」
- ・ 7月26日 「わたしののれん」
- ・ 8月26日 「あかりのアート」
- ・ 11月25日 「つるを生かしたかざり」
- ・ 12月 9日 「からくりちぎり絵カレンダー」
- ・ 2月 3日 「おしゃれな花びん」

ケ キッズ・エンジョイ・アート

- ・ 5月19日 ・ 6月16日 ・ 7月21日 ・ 10月20日 ・ 12月15日 ・ 2月16日

コ スクールミュージアム「学校の教室が美術館に!？」

- ・ 6月20日 岐阜県立土岐紅陵高等学校

サ 岐阜県移動美術館

- ・ 「来た、見た、感じた!現代アート展」  
平成24年11月6日～12月24日 関市立篠田桃紅美術空間

シ デッサン自習室

- ・ 9月15日 ・ 10月27日 ・ 11月23日 ・ 12月22日 ・ 1月19日
- ・ 2月5～8日 ・ 2月23日 ・ 3月12～16日

ス オルガン定期演奏会 6月を除く毎月第二日曜日

- ・ 4月 8日 ・ 5月13日 ・ 7月8日 ・ 8月12日 ・ 9月9日
- ・ 10月14日 ・ 11月11日 ・ 12月9日 ・ 1月13日 ・ 2月10日
- ・ 3月10日

岐阜県美術館ホームページ

<http://www.kenbi.pref.gifu.lg.jp/>